

第 3 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

3 年 2 組 指 導 者 池 永 亜 由 美

単 元 想 像 し な が ら 読 む こ と を 楽 し む 「 三 年 と う げ 」

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

言葉の働きに着目すること

2 本単元について

本学級の子どもたちは、「きつつきの商売」や「まいごのかぎ」の学習をとおして、言動を表す叙述を基に、登場人物の気持ちの変化を捉えながら物語を読むことを楽しんできた。このような子どもたちが、言葉の働きに着目して物語を読んでいく。このことは、登場人物の気持ちや場面の様子を具体的に想像しながら物語を読もうとすることにつながるであろう。

本単元は、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する学習である。本教材は朝鮮半島に伝わる民話で、登場人物の気持ちが場面の移り変わりとともに変化する様子が表現されている。口承文学である民話は、人から人へ音声で伝えられてきたため、独特な言い回しや軽快なリズムをもつ言葉など、聞き手を引き付ける言葉が用いられている。そのため、民話を読んだ子どもは、民話特有の言葉におもしろさを感じるであろう。しかし、その言葉の意味を考えて民話を読む子どもは少ない。そこで、民話特有の言葉の働きに着目することを大切にしたい。そうすることで、言動を表す叙述から想像したことに加え、民話特有の言葉からも、より豊かに想像をふくらませて読むことができると考える。そのような言葉の働きに着目し、物語の内容を具体的に想像しながら読む経験を重ねることで、どの物語でも、物語の世界や人物像を豊かに想像して読もうとすることにつながると思う。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 民話特有の言葉を含む文章を音読した際、音読の仕方の意図を問う。そうすることで、音読した言葉から、登場人物の気持ちや場面の様子を感じ取ることができるようにする。【創】
- 音読の仕方について交流した後、民話特有の言葉があることのよさについて問う。そうすることで、民話特有の言葉には、登場人物の気持ちや場面の様子についての想像をふくらませる働きがあることに気付くことができるようにする。【受】
- 民話特有の言葉を含む作品を読む場を設定する。そうすることで、言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を具体的に想像することができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 民話特有の言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を具体的に想像することができるようにする。
- 民話特有の言葉の働きに着目して、民話の内容を豊かに想像しながら読もうとすることができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○様子や行動、気持ちや性格を表す語句を見付けている。	○登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	○言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を具体的に想像して読もうとしている。

5 指導計画（全5時間）

第 1 次 初発の感想を基に、心に残ったことや読み深めたいことを交流する（1時間）


第 2 次 登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する（3時間）【本時3/3】

第 3 次 他の民話を読み、言葉の働きに着目して登場人物の気持ちや場面の様子について具体的に想像する（1時間）

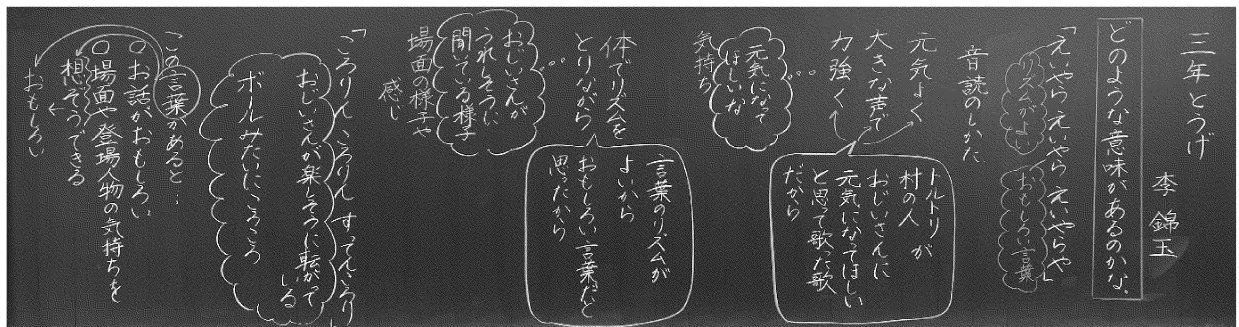
6 本時案 【令和3年10月29日 9:20~10:05 3年2組教室】

(1) ねらい 民話特有の言葉を含む文章の音読についての気付きを交流することとおして、民話特有の言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を想像することができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 民話特有の言葉を含む文章の音読の仕方について、考えたことを交流する。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろさを感じた言葉 ・音読の仕方の意図 ・登場人物の気持ちや場面の様子 	<p>・「えいやら えいやら えいやらや」という言葉がおもしろいと思ったよ。</p> <p>Aでも「<u>えいやら えいやら えいやらや</u>」とは何かな。なくてもよいのではないかな。</p> <p>Bいや、この言葉がないと変な感じだよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「えいやら えいやら えいやらや」にはどのような意味があるのかな。</p> </div> <p>・「えいやら えいやら えいやらや」を音読するのだね。どのように音読しようかな。</p> <p>Bぼくは大きな声で音読したよ。だって歌を歌った人は、おじいさんを元気付けようとしていたからだよ。</p> <p>Cわたしは体でリズムをとって音読したよ。楽しくて明るい感じがするからね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bさんの音読から、おじいさんを励まそうとしている気持ちが伝わってきたよ。 <p>A Cさんの音読から、おじいさんが嬉しそうに歌を聞いている様子が想像できたよ。</p>	<p>○「三年とうげ」を音読した感想を交流するよう促すことで、民話特有の言葉に目を向けることができるようにする。【創】</p> <p>○民話特有の言葉を含む文章を音読した際、音読の仕方の意図を問う。そうすることで、音読した言葉から、場面の様子や登場人物の気持ちを感じ取ることができるようにする。【創】</p> <p>○音読の仕方について交流した後、民話特有の言葉があることのよさについて問う。そうすることで、民話特有の言葉には、登場人物の気持ちや場面の様子についての想像をふくらませる働きがあることに気付くことができるようにする。【受】</p>
<p>2 言葉の働きに着目して民話を読むことのよさについて考える。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働きに着目して民話を読むこと 	<p>・この言葉がお話をおもしろくしているよ。</p> <p>Bそれに、歌った人の気持ちやおじいさんの様子が伝わってくるというよさもあるね。</p> <p>Aこの言葉に着目すると想像が広がって、<u>お話をもっと楽しく読むことができるよ。</u></p> <p>・「ころりん、ころりん、すってんころり」からは、おじいさんがとても楽しそうに、何度も転がっている様子が想像できたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の民話にも、この言葉と似た言葉があったのを思い出したよ。読んでみたいな。 	<p>○「えいやら えいやら えいやらや」があると、どのようなよさがあるかな。</p> 

(3) 板書計画



第 3 学年 国語 科学習指導計画

3年2組 指導者 池 永 亜由美

15M (5時間) **が本時**

学習活動	子どもの意識
第1次 初発の感想を基に、心に残ったことや読み深めたいことを交流する	3M (1時間)
学習内容 ・登場人物の気持ちや場面の様子を想像しようとする(態)	
<input type="checkbox"/> 初発の感想を基に、気持ち进行交流する (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・「三年とうげ」というお話を読むのだね。このお話は、朝鮮半島に伝わる民話なのだって。どのようなお話か読んでみよう。中心人物はおじいさんだね。「三年とうげ」で転ぶと、3年しか生きられないという言い伝えがあるのだって。おじいさんはそこで転んで落ち込んでいたけれど、最後は元気になってよかったよ。おじいさんが言い伝えと逆のをしたところがおもしろいという人もいるのか。「えいやら えいやら えいやらや」という言葉もおもしろいね。お話の最後は、誰が歌を歌ったのかという疑問で終わっているから気になるという人もいたよ。そのことについて、みんなで話し合ってみよう。
第2次 登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する 9M (3時間)	
学習内容 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句を見付けること(知) ・登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わり結び付けて想像すること(思)	
<input type="checkbox"/> 歌を歌った人物について考えたことを交流する (3M) <input type="checkbox"/> 叙述からおじいさんの気持ちの変化した様子を具体的に想像する (3M) <input type="checkbox"/> 民話特有の言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子について具体的に想像する (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌ったのは誰かな。それはトルトリだと思うよ。トルトリは、落ち込んでいたおじいさんに元気になってほしくて歌ったのではないかな。トルトリがおじいさんに言ったことと、歌の内容が同じことから分かるよ。友だちは、村の人だと言っているよ。村の人がおじいさんのことを心配したと書いてあったから、そう思ったのか。この歌を聞いたおじいさんは、聞く前と様子が変わったね。「けろけろけろとした顔」という言葉から、すっかり元気になったおじいさんの顔が思い浮かんだよ。他にもおじいさんの気持ちを表す言葉があるよ。言葉からおじいさんの様子や気持ちの変化を想像できそうだね。 ・歌の前後で、おじいさんはどのように変わったのかな。おじいさんの様子や気持ち分かる言葉を見付けてみよう。「真っ青になり」という言葉から、おじいさんのとても不安な気持ちが想像できるよ。友だちは「おいおいなきました」という言葉から、とても悲しかったことが分かったのだって。歌を聞いた後は、おじいさんの気持ちを表す「すっかりうれしくなりました」という言葉を見つけたよ。おじいさんの様子や気持ちを表す言葉から想像すると、お話がさらにおもしろくなるね。でも「えいやら えいやら えいやらや」のように、意味がよく分からない言葉もあるよ。この言葉にも何か意味があるのかな。 ・お話の感想を交流した時、「えいやら えいやら えいやらや」がおもしろいと思った友だちがいたね。この言葉を音読してみるのだね。どのように音読するとよいか。前の時間に、歌はおじいさんを元気付けるためだと分かったね。だから大きな声で音読したよ。友だちは、体でリズムをとりながら音読していたよ。言葉のリズムがよくて楽しい感じだからなのだって。みんなの音読から、おじいさんを元気付けようとする気持ちや、楽しそうなおじいさんの様子が伝わってきたよ。「えいやら えいやら えいやらや」からも、想像できることがあるのだね。他の民話にも似た言葉があったよ。読んでみたいね。

<p>第3次 他の民話を読み、言葉の働きに着目して登場人物の気持ちや場面の様子について具体的に想像する</p> <p style="text-align: right;">3M (1時間)</p>	
<p>学習内容 ・言葉の働きに着目して、登場人物の気持ちや場面の様子を具体的に想像しようとする事(態)</p>	
<p>□他の民話を、言葉の働きに着目して、具体的に想像しながら読む (3M)</p>	<p>・他の民話を読んでみよう。前に読んだことのある「かきこじぞう」には、「じょいやさ じょいやさ」という言葉があったよ。この言葉から、お地蔵さんたちがみんなで声を合わせて一生懸命荷物を運んでいる様子が想像できたよ。他の民話も「三年とうげ」と同じように、お話の初めと終わりで登場人物の様子が大きく変化したり、おもしろい言葉が使われたりしている作品が多くあるのだね。今まではあまり気にしていなかった言葉からも、想像を広げて読むことができおもしろかったよ。民話を読むときには、言葉に着目して想像を広げながら読んでみよう。世界のいろいろな民話も読んでみたくなったよ。</p>